

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度
青森県	田舎館村	北	令和3年度	令和5年度

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

No.	対象経営体名	成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
1		付加価値額の拡大	令和3年の米価下落を受け、令和4年産は部分的に主食用米から飼料用米に作付けを切り替える等対応を行い、大幅な米価下落からの収入回復はできたものの、当初の計画で目標としていた農業収入には届かず、目標達成に至らなかった。	米価は回復しつつあるが、燃料費等は高騰し続けると予想されるため、経営コストの削減を今まで以上に進める必要がある。関係機関と連携しながら、コスト削減に直結する生産技術の指導を仰ぎ、導入機械の効率的な使用を実施する。また、他の経営体や先進地のコスト低減事例の情報収集等を積極的に行い、更には成果目標の確実な達成を図るため、農業経営相談所等の支援機関に登録されている中小企業診断士、税理士、経営コンサルタント等の専門家などを活用し、農閑期に重点的な指導を実施し、令和5年度には目標を達成できるよう取り組む。

II 地区の成果目標ごとの未達成理由等

成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
付加価値額の拡大	令和3年の米価下落を受け、令和4年産は部分的に主食用米から飼料用米に作付けを切り替える等対応を行い、大幅な米価下落からの収入回復はできたものの、当初の計画で目標としていた農業収入には届かず、目標達成に至らなかった。	米価は回復しつつあるが、燃料費等は高騰し続けると予想されるため、経営コストの削減を今まで以上に進める必要がある。関係機関と連携しながら、コスト削減に直結する生産技術の指導を仰ぎ、導入機械の効率的な使用を実施する。また、他の経営体や先進地のコスト低減事例の情報収集等を積極的に行い、更には成果目標の確実な達成を図るため、農業経営相談所等の支援機関に登録されている中小企業診断士、税理士、経営コンサルタント等の専門家などを活用し、農閑期に重点的な指導を実施し、令和5年度には目標を達成できるよう取り組む。

1 担い手への農地利用集積について

農地中間管理機構の活用等による利用集積を促進することとし、担い手の高齢化や後継者不足に対応するため、集落営農組織の育成の他、若い大規模農家を強化することとする。

2 必要となる中心経営体の育成について

高齢化による後継者不足が問題となっているため、中心経営体として経営改善状況等を引き続きフォローアップしていくことが必要である。集落営農の組織化等も含めた中心経営体の育成、確保に向けて検討を行っていくこととする。

3 人・農地プランの作成・見直しについて

令和2年3月13日に実施化し、令和4年3月18日に見直しを実施した「人・農地プラン」については村内全地区を公表しているが、今後も必要に応じ見直しを実施するとともに、地区での話し合いやアンケート調査の実施並びに地区化により、認定農業者を中心とした中心経営体（担い手）による農地の集約・集積に努める。

4 未達成者への対応等について

構造政策を効果的に推進するため、未達成者に対するフォローアップを引き続き実施するとともに、今後の支援の在り方について村全体の中心経営体の育成・確保状況やこれまでの活動状況等を踏まえ、地区の関係者・JA・農業普及振興室等の関係者と定期的な情報交換を検討する。

〔記入要領〕

1 Iの「目標未達成となった主な理由等」欄については、経営体の成果目標の項目ごとに主な理由を記入する。

また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄については、これまでの達成状況等の推移を踏まえ、具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について記入する。

2 IIの「未達成理由の総括」欄については、地区の成果目標ごとに、未達成理由を総括的に整理する。

また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄についても、地区の成果目標ごとに具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について総括的に記入する。

3 IIIについては、IIで整理した地区の成果目標未達成理由等を考慮の上で、①地区内の担い手への農地利用集積状況や出し手・受け手の現状等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、②地域が必要とする担い手と地域内での役割分担の状況等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、③人・農地プランと現状の乖離状況等を踏まえた具体的な対応策等、④未達成者への今後の対応その他の課題と対策について記入する。